

平成29年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

# 被災県が実施する震災アーカイブの意義

2018年

1月11日(木)

13:00 ~ 16:30  
(開場 12:30)

参加費 無料  
定員 200名

## 会場

東北大学災害科学国際研究所棟 1階  
多目的ホール(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)  
仙台市営地下鉄東西線  
青葉山駅下車 南出口 徒歩5分  
※ 青葉山駅は仙台駅から地下鉄東西線で9分



## 主催

東北大学災害科学国際研究所

国立国会図書館



## プログラム

### 震災アーカイブを取り巻く国際動向

#### ～世界防災フォーラム&ぼうさいこくたいの報告～

東北大学災害科学国際研究所助教

ボレー・セバスチャン

### 被災県が取り組む震災アーカイブ～復興にむけて目指すもの～

#### 「いわて震災津波アーカイブ～希望～」について

岩手県復興局復興推進課推進協働担当課長

酒井 淳氏

#### 熊本地震への対応とデジタルアーカイブ

熊本県知事公室危機管理防災課熊本地震検証室主幹

林田 昭広氏

#### 茨城県における東日本大震災の記録資料の収集と公開

茨城県生活環境部防災・危機管理局防災・危機管理課副参事

中原 健次氏

#### 福島県における震災関連資料の収集について

福島県文化スポーツ局生涯学習課主任社会教育主事

半谷 成満氏

### 進化する震災アーカイブ～現状と課題～

#### 在仙テレビ局の震災アーカイブ、その意義と活用法

宮城テレビ放送アナウンサー

浮ヶ谷 美穂氏

#### 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)の課題と取組

国立国会図書館電子情報部主任司書

伊東 敦子

#### 震災アーカイブを発展させるために研究機関がすべきこと

東北大学災害科学国際研究所准教授

柴山 明寛

### パネルディスカッション

#### 被災県が実施する震災アーカイブの意義

上記報告者及び太田 朋子氏(宮城県図書館資料奉仕部震災文庫整備チーム主査)



平成28年度 東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム

## 申込方法

下記「みちのく震録伝」トップページ掲載のシンポジウム案内からリンクしている「参加申込みフォーム」にてお申し込みください。定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」(<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>)



## 問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

電話：022-752-2099

メールアドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

※シンポジウムの詳細については、「みちのく震録伝」ホームページをご覧ください。